■金子堅太郎　　官僚政治家。担当者として帝国憲法と基本諸法をまとめ，対米工作先頭にたち，「明治天皇紀」まとめて没した。
かねこけんたろう
ペリー来航・1853＝　　筑前国早良郡鳥飼村(福岡市中央区)で，福岡藩士勘定所付金子直道の長男に生まれる。幼名は徳太郎。

桜田門外変・1860＝ 7歳：金山和蔵に続いて，
遣欧使節・・1861＝ 8歳：正木昌陽に師事して，漢学修行。
生麦事件・・1862＝ 9歳：
8月18日政変 1863＝10歳：藩校修猷館に入り，

明治維新・・1868＝15歳：父が死去して，家督を相続するも，一代限りの身分だったため，士籍失い，改めて銃手組の株を購入。
全共闘ﾋﾟｰｸ・1969＝16歳：成績優秀につき，永代士分に列せられ，秋月藩への遊学を命じられる。
初の日刊新聞1870＝17歳：藩命により東京に遊学，
廃藩置県・・1871＝18歳：松山藩大参事藤野正啓の漢学塾に所属。_岩倉使節団に同行の旧藩主黒田長知に従ってアメリカに留学，

明治6年政変 1873＝20歳：

三つの内乱・1876＝23歳：_弁護士に師事し，法律事務所に通って勉学ののち，ハーバード大学に入学し，
_同期の小村寿太郎と同宿して切磋琢磨，留学生仲間の伊沢修二らと交流しながら，法律学を修めて，
大久保暗殺・1878＝25歳：_卒業し，法学士となって，帰国，東京大学予備門教員となる。
_傍ら，共存同衆や嚶鳴社に加盟して，学術・時事を論じるうち，
・・・・・・1880＝27歳：青森県令次女と結婚。_元老院に出仕，権大書記官として各国憲法の調査に当たり，「政治論略」を著す。
明治14年政変1881＝28歳：政変にも関与。
新体詩抄・・1882＝29歳：_元老院総理秘書官に就任し，大書記官に昇進。

秩父事件・・1884＝31歳：_制度取調局の設置にともない，立憲制移行にともなう諸法制の整備に関与，
内閣発足・・1885＝32歳：_内閣総理大臣秘書官となり，
帝国大学始・1886＝33歳：以降，*伊藤博文のもとで，井上毅，伊東巳代治らとともに憲法，皇室典範や憲法付属の法典の起草に当たり，とくに貴族院令，衆議院議員選挙法の立案を担当，
初の対等条約1888＝35歳：枢密院書記官兼議長秘書。
帝国憲法発布1889＝36歳：*憲法・皇室典範・貴族院令・衆議院議員選挙法の発令に至る。日本法律学校の初代校長。欧米視察に出，
帝国議会始・1890＝37歳：_帰国。初代の貴族院書記官長となり，貴族院議員にも勅撰される。

大本教・・・1892＝39歳：国際公法学会会員として，ジュネーブでの国際会議に出席，アメリカを回って帰国。
郡司千島探検1893＝40歳：校長を辞任。
日清戦争始・1894＝41歳：_伊藤系官僚として，第2次伊藤内閣で農商務次官となり，

日清戦争後の産業育成政策を立案・指導した。

子規句歌革新1898＝45歳：_第3次伊藤内閣には農商務大臣をつとめ，
Bushidou・・1899＝46歳：渡米。*憲法制定等の功績で，ハーバード大学から名誉博士号。東京株式取引所理事長。
ﾋﾟｱﾉ国産化・1900＝47歳：_伊藤の立憲政友会結成には創立委員，総務委員に選ばれ，第4次伊藤内閣の司法大臣に就任。憲法制定の功績で，男爵となる。米友協会会長。

日露戦争始・1904＝51歳：_日露戦争中には渡米し，ハーバード大学時代の級友ローズベルト大統領と折衝，アメリカ国内の対日世論工作に当たった。
日露戦争終・1905＝52歳：
満鉄発足・・1906＝53歳：枢密顧問官となり，
韓国反日暴動1907＝54歳：子爵を授けられる。
ｱﾗﾗｷﾞ創刊・ 1908＝55歳：東京大博覧会会長。
韓国併合・・1910＝57歳：_維新史料編纂会発足に関与し，

明治天皇没・1912＝59歳：

第一次大戦始1914＝61歳：臨時帝室編修局総裁経て，
21ヶ条要求・1915＝62歳：_維新史料編纂会総裁となり，「明治天皇紀」を編修を開始，
民本主義・・1916＝63歳：
ロシア革命・1917＝64歳：日米協会会長。

原敬首相暗殺1921＝68歳：
水平社結成・1922＝69歳：帝室編纂局総裁。

治安維持法・1925＝72歳：

金融恐慌・・1927＝74歳：台湾銀行救済問題や，
共産党事件・1928＝75歳：勲一等旭日大綬章。

海軍軍縮条約1930＝77歳：ロンドン海軍軍縮条約問題では政府批判の立場をとり，
満州事変・・1931＝78歳：

帝人疑獄事件1934＝81歳：
芥川直木賞始1935＝82歳：天皇機関説問題でもこれを批判した。
1937＝84歳：_「明治天皇紀」を完成し，
健保+総動員 1938＝85歳：伯爵を授けられ，三木武夫とともに，日米同志会を立ち上げて会長となり，
日米開戦・・1941＝88歳：_「維新史」編纂も完了するが，朝河貫一からの日米開戦回避求める書簡受取るも，開戦に至るなか，
・・・・・・1942＝89歳：_没した。大勲位菊花大綬章追贈。
インターネットWikipedia，「没年日本史人物事典」，「日本の群像」，平凡社百科事典，